

KUMISETSU



部品リスト

組み立て前にご確認ください。

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
①	本体	1	③	六角ボルト	8
②	脚部	4	④	六角レンチ	1
			⑤	フェルト	4

※部品が足りない場合は、巻末に記載の連絡先までご連絡ください。

KUMISETSU



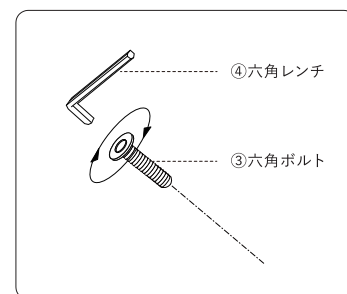
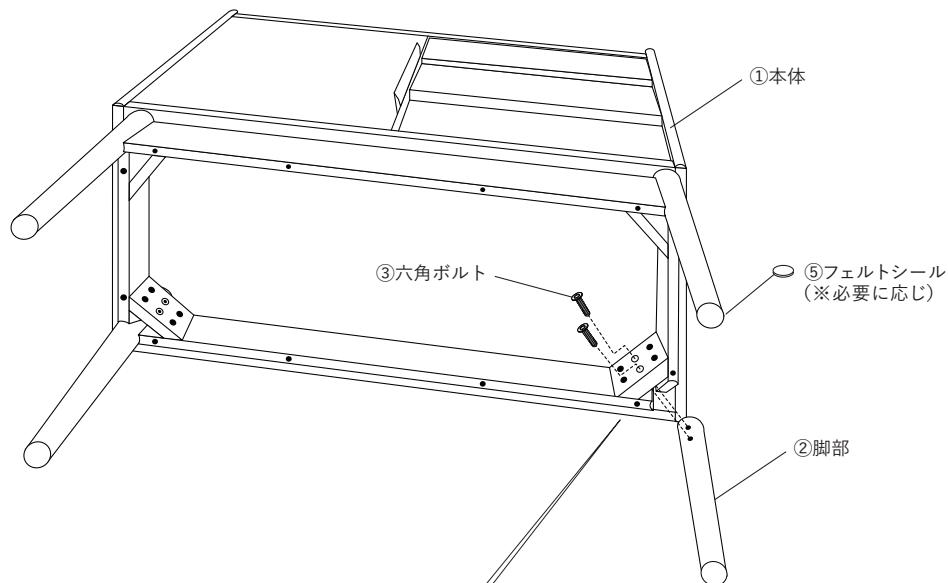
手順

後半に記載の「組み立てポイント」と「注意点」もご確認ください。

- ①本体を背面側に倒し、底面の木の角に合わせるように、②脚部を当てます。
内側中央の穴から、③六角ボルトを差し込み、手で軽く締めます。(図1)
- もう1本も同様に入れ、④六角レンチで締めます。合計4ヶ所脚の③六角ボルトを締め切ったら、必要に応じて⑤フェルトをつけ、起こして完成です。

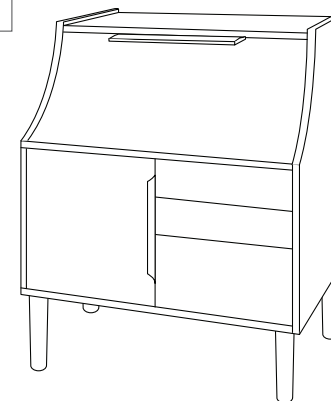
※1人で起こそうとすると、脚がてこの原理で折れる可能性があるので、2人以上で起こしてください。

図1



③六角ボルトを奥までしっかりと差し込みジョイントします。この際、指を挟まないようご注意ください。

完成図



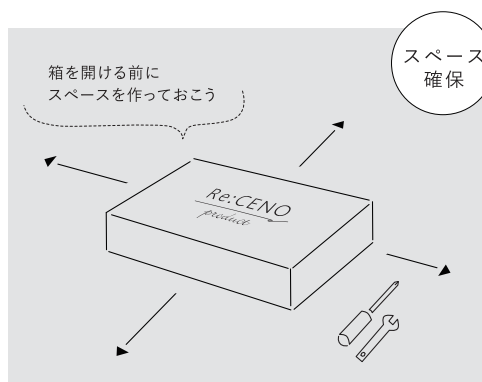


組み立てポイント

組み立ての時に大切なポイントをまとめました。

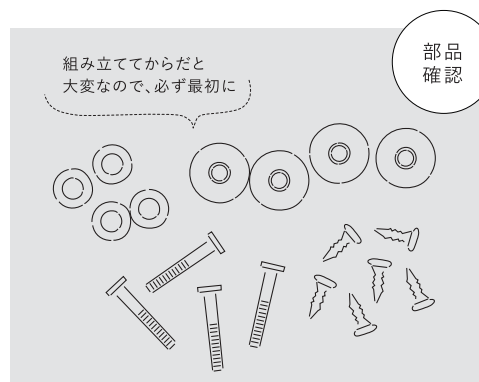
組み立ての作業スペースを確保

まずは作業スペースをしっかりと確保しましょう。組み立てるスペースはもちろんですが、組み立て前の部品の確認や、その後の部品をわかりやすく置いておくスペースも考えておきましょう。



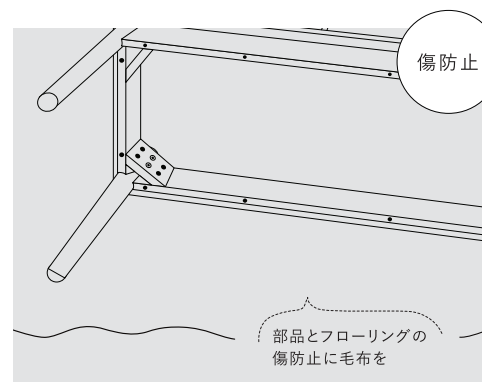
部品は揃ってますか？ 最初に確認を

組み立て前の必須ポイントが部品確認。数や部品は揃っているのか？ どの部品が何のための物なのか？ 始めに見ておくで作業もスムーズに。万が一部品が足りなかった場合も組み立て前に連絡ができます。



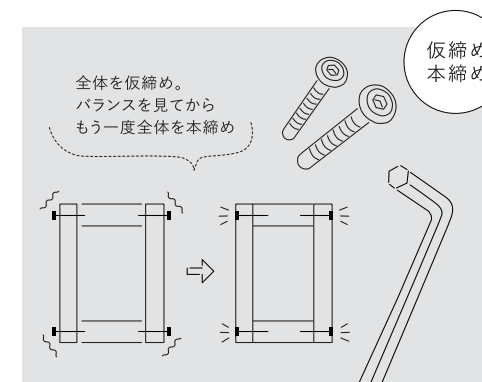
傷が付かないよう、床に毛布を

組み立てをする際、床に直接部品を置くと、床と部品に摩擦が生じて、傷が付くことがあります。大きめの毛布などを用意して、その上で作業することをおすすめします。



ねじ、ボルト類は仮締めから

組み立てを行うとき、最初から10割の力で締めると、微妙なズレが調節できずに最後に組みあがらないこともあります。始めは7-8割の力で仮締めを行い、全体の形ができてから本締めを行うようにしましょう。



注意点

組み立て前に必ずご一読ください。

※過度の締めすぎは脚、フレーム、ナット等の破損、金具の変形の恐れがありますのでご注意ください。
※無理に引きずると、脚部の折れや不良につながる恐れがございます。

※メンテナンスのため、年に一回はねじ類の締め直しをおすすめします。
※乱暴な取り扱いや用途以外、傾斜面や段差のある所では使用しないでください。

